

県内各地域で広域化に向けた取り組みが進んでいます。

高齢化が進む農村地域において活動組織の

「広域化」は避けては通れないテーマです！



推進協議会は「広域化」を推進しています！

今は大丈夫……。5年先も大丈夫ですか？
あなたの地域でも広域化について考えてみましょう！

平成 29 年 5 月 11 日設立

高千帆環境保全会（山陽小野田市）

面積 139.9ha 水路 92.7 km 農道 41.7 km ため池 8 箇所



高千帆土地改良区において、1 土地改良区 1 活動組織の実現を図り、「農業・農村の発展と活力ある地域づくり」の礎を確立した。

既存の 3 活動組織が統合

- 高千帆東部地域環境保全会
- 河原田環境保全会
- 江汐水系美土里会

平成 29 年 6 月 9 日設立

鹿野地域環境保全会（周南市）

面積 87.0ha 水路 17.7 km 農道 13.4 km ため池 4 箇所



棚田ふるりの和づくり応援事業（単県事業）を活用し、昨年度 6 回の検討会を実施して鹿野土地改良区を母体とした広域化を実現した。

既存の 3 活動組織が統合

- 大潮水土里保全会
- 小泉地域保全会
- 今井の郷を守る会

平成 29 年度 多面的機能支払交付金の改正のポイント



① 経理区分の一本化

資源向上支払（長寿命化）とそれ以外とで区分されている**経理区分を一本化**することができますよ（No.96 号に詳細掲載）

※ 資源向上支払（長寿命化）の交付金を農地維持活動及び資源向上活動（共同）の活動費として使用することはできません！

② 水田の畑地化に伴う単価の経過措置

改正内容

水田を畑地化する場合は、その時点の活動期間中に限り、農地維持支払の交付単価は**水田の単価**を適用できます。

効果

水稲中心の営農から野菜等の高収益作物への転換を後押しします。

水田を畑地化した場合の単価のイメージ

	これまで (単位 円/10a)			これから (単位 円/10a)	
	水田	畑地化後	→	水田	畑地化後
単価	3,000	2,000		3,000	3,000

※地目の変更があった時点の、残りの活動期間中に限る

③ 多面的機能の増進を図る活動における広報活動の要件化

※対象農用地に中山間地域等が含まれる場合は、任意としていますので、最寄りの市町等にご確認ください。

改正内容

平成 29 年度以降に**新たに**多面的機能の増進を図る活動に取り組む活動組織については、多様な主体の参画を目的とする広報活動を実施することを要件とします。

効果

農業者中心や少人数ではできなかった活動が可能になるなど、活動が充実すると同時に、活動の継続的な実施につながります。

活動のイメージ

多面的機能の増進を図る活動（1つ以上実施）

- 遊休農地の有効活用
- 農地周りの共同活動の強化
- 地域住民による直営施工
- 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
- 防災・減災力の強化
- 農村環境保全活動の幅広い展開
- 医療・福祉との連携

広報活動（1つ以上実施）



パンフレット、広報紙、ポスターの作成・頒布



看板やポスターの設置



ホームページの開設・更新、関係団体等のホームページへの掲載等